

令和5年度第3回函館方面江差警察署協議会議事概要

1 開催日時

令和6年3月8日（金）午後1時30分から午後2時30分まで

2 開催場所

函館方面江差警察署 大会議室

3 出席者

(1) 協議会委員 4人（定員6人）

| | |
|-------|--------|
| 会 長 | 田原 栄輝 |
| 副 会 長 | 松崎 真由美 |
| 委 員 | 庄山 江利子 |
| 委 員 | 三上 修吾 |

(2) 警察署員

| | |
|-----------|-------|
| 署 長 | 齋藤 敦 |
| 副署長兼警務課長 | 佐藤 晴大 |
| 刑事・生活安全課長 | 岩谷 匡俊 |
| 交通課長 | 上野 賢司 |
| 地域係長 | 佐藤 孝 |

4 会長挨拶

新年に入って最初の警察署協議会となります。今年もよろしく御願ひ致します。

今年に入り、元旦から能登半島沖地震が発生し、多くの被害が出ていますが、私も平成4年に函館から江差に転勤となり、その翌年に北海道南西沖地震が発生し、被災した経験があります。

海に面した町に住む者にとっては、いつ地震による津波が襲いかかってくるかもしれないという危機感を持って、準備しておかなければならないと思います。

本日の諮問事項が災害への危機管理対策の強化ということであり、まさに時局を捉えたテーマだと思いますので本日は有意義な意見交換をしていただきたいと思います。

5 署長挨拶

常日頃から警察業務にご理解いただきありがとうございます。

昨年5月から、新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、社会が活発化し観光客、祭典など以前の状況に戻りつつあります。

それに伴い、道内では刑法犯の発生や交通事故が増加傾向にあります。

当署管内では、昨年において重大犯罪や交通事故の発生はありませんでしたが、SNSを使用した約6,500万円被害の投資詐欺事件が発生しました。

今後も、住民の安全安心のため署員一同、地域住民目線で地域に根ざした活動を行って参りたいと思いますので、意見、提言などがあればお聞かせ頂きたいと思ひます。

6 業務概況説明

- (1) 刑法犯認知・検挙状況、特殊詐欺被害抑止活動
- (2) 交通事故発生状況、交通安全啓発活動
- (3) 地域警察官の活動
- (4) その他の警察活動

7 前回の協議会における意見・要望に対する説明

- 犯罪被害防止のための防犯指導について
 - ・ 特殊詐欺防止対策として、随時防犯メールなどで情報発信を行ったほか、年金支給日には金融機関や防犯協会、消費者センター職員と連携して街頭啓発を行うなど、特に高齢者等が被害に遭わないよう防犯意識を高める活動を行っています。
 - ・ 新たな特殊詐欺の手口については、交番、駐在所速報を作成し、住民への配布やホームページへの掲載により広く周知しています。
- 災害発生時の避難誘導・交通整理について
大地震等の大規模災害を想定して
 - ・ 署員を対象とした図上訓練や住民参加の避難訓練
 - ・ 装備資機材の集中管理
 - ・ 庁舎損壊時に業務を継続するため、檜山振興局の一部施設を代替施設として利用する覚書の締結を実施しています。

8 諮問事項

災害等への危機管理対策の強化

～大地震等を想定した住民避難対策の推進～

当署管内においても、今から30年前に、北海道南西沖地震により、特に奥尻島において甚大な被害を受けています。

災害への備えが必要なところですが、住民の方々が不安に思っていること、警察に期待する活動についてご意見をお聞かせください。

委員からの答申等

- 厚沢部町は山が多いので、土砂崩れが起きる危険性があり、近所数軒単位で災害発生時の対応等については話し合っています。
自分達も災害に備え、自分の家族が3日から4日食べる分の食料は備蓄しています。
- 乙部町でも各町内会単位で、高齢者が避難場所に到達するまでの時間を計測したり、避難経路を確認したりしています。
- 実際に災害を経験したり、他府県の災害の状況をテレビ等で見ていると、災害が発生し生き延びた後のことを考えるようになりました。
食料の備蓄だけでなく、ある程度の現金の用意も必要だと感じています。
- 避難場所だけでなく、発電可能な場所、発電機を所持している企業等を事前に把握しておけば、災害に遭った時に迅速な対応ができると思います。
また、発電機の点検も重要だと感じています。